



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月28日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社横河ブリッジホールディングス
コード番号 5911 URL <http://www.ybhd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 和彦
問合せ先責任者 (役職名) 財務IR室長 (氏名) 中岡 康次 TEL 03-3453-4116
四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	68,395	6.9	8,292	74.7	8,317	71.7	5,556	70.5
2020年3月期第2四半期	64,009	△6.5	4,745	△5.5	4,842	△5.2	3,259	△3.5

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 7,578百万円（168.5%） 2020年3月期第2四半期 2,823百万円（△29.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	134.22	—
2020年3月期第2四半期	78.80	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	160,535	98,709	59.8	2,319.82
2020年3月期	152,583	92,048	58.6	2,159.88

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 96,030百万円 2020年3月期 89,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2021年3月期	—	22.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	47.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2020年10月28日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,000	4.2	14,000	8.7	14,000	7.9	9,700	7.7	234.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	45,564,802株	2020年3月期	45,564,802株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,169,141株	2020年3月期	4,168,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	41,395,861株	2020年3月期2Q	41,366,198株

(注)自己株式数には、「従業員持株会専用信託」の信託財産として所有する当社株式および「役員向け株式交付信託」の信託財産として所有する当社株式を含めて記載しております。

(2021年3月期第2四半期末 60,000株、2020年3月期末 60,000株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年11月10日（火）に機関投資家、アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料につきましては、同日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
売上高、受注高及び受注残高(連結)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①受注高

橋梁事業につきましては、高速道路関係の大型案件を受注しました第1四半期に引き続き、当第2四半期(2020年7月1日～2020年9月30日)においても西日本高速道路・沖新高架橋他1橋、西段橋他1橋耐震補強、東日本高速道路・メップ川橋補修、東日本旅客鉄道・品川駅北口広場整備鉄骨製作運搬3などの大型工事の他、国土交通省及び地方自治体案件などの受注を重ねました結果、当第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)における橋梁事業の受注高は433億7千万円(前年同期比31.1%増)となり、年度計画(750億円)に対し約58%の達成となりました。

エンジニアリング関連事業につきましては、システム建築事業の受注は伸び悩みましたが、建築機鉄事業において海外大型工事を受注することができましたため、事業全体の受注高は309億7千万円(同14.9%増)となりました。

先端技術事業につきましては、精密機器製造事業の受注が好調でありましたため、受注高は22億4千万円(同56.5%増)となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期累計期間における受注高は765億9千万円(同24.6%増)となりました。

②経営成績

当社グループの当第2四半期累計期間における売上高は683億9千万円(前年同期比6.9%増)となりました。また、営業利益は82億9千万円(同74.7%増)、経常利益は83億1千万円(同71.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億5千万円(同70.5%増)となり、各利益の数値は第2四半期累計期間として過去最高を更新いたしました。以下事業別に記載いたします。

(橋梁事業)

橋梁事業の売上高は431億4千万円(前年同期比13.5%増)と堅調に推移する中、当期竣工となる長期大型工事の設計変更について予定よりも早い進展が複数あり、その処理が当第2四半期に集中しました。その結果、最終精算に伴う利益の計上が前倒しとなり、竣工時に生じやすい利益の上振れも実現したことから、営業利益は63億9千万円(同64.3%増)となり、上半期として過去最高の業績とすることができました。

(エンジニアリング関連事業)

エンジニアリング関連事業につきましては、売上高は225億3千万円(前年同期比6.0%減)、営業利益は18億7千万円(同77.6%増)となりました。システム建築事業はコロナ禍が長期化する中、上期は目標に届かない受注状況が続きましたが、前年同期から採算は改善し増益となりました。システム建築事業の市場環境につきましては工場関係を中心に一部案件の先送りや見直しの動きが見られますが、下期以降は倉庫関係に加え、先送りされました案件に関する受注を見込んでおります。

(先端技術事業)

先端技術事業につきましては、受注の増加により売上高は23億8千万円(前年同期比44.3%増)、営業利益は4億3千万円(同112.6%増)と何れも前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ79億5千万円増加し、1,605億3千万円となりました。流動資産は、「受取手形・完成工事未収入金等」が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ37億1千万円増加しました。固定資産は、株価の上昇等により投資その他の資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ42億3千万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ12億9千万円増加し、618億2千万円となりました。これは主に、「支払手形・工事未払金等」が減少し、「短期借入金」が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ66億6千万円増加し、987億円となりました。その主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を計上したことによるものです。この結果、自己資本比率は59.8%となりました。

②キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同四半期連結会計期間末に比べて106億5千万円減少し、159億9千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は53億2千万円(前年同四半期連結累計期間は96億1千万円の獲得)となりました。これは、主に「受取手形・完成工事未収入金等」の売上債権が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は37億3千万円(前年同四半期連結累計期間は60億1千万円の使用)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は23億3千万円(前年同四半期連結累計期間は13億4千万円の使用)となりました。これは、主に借入れによる収入が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

システム建築事業は下期に受注の回復を見込んでおりますが、生産は一部来期にずれ込むことになるため、売上高は当初予想を下回る見込みです。一方、損益につきましては、営業利益は10億円程度増加し、第5次中期経営計画(2019年4月～2022年3月)の数値目標(営業利益140億円、1株当たり当期純利益230円)を1年前倒しで達成できる見込みとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される中、好調な橋梁事業をベースに、システム建築事業の本格回復を図ることにより、当社グループ全体で更なる業績拡大を目指してまいります。以上のことから通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、期末配当予想につきましては、従来の1株当たり20円から25円に変更いたしました。詳細は本日発表の「剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照下さい。

2021年3月期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2020年5月14日発表)	147,000	13,000	13,000	9,050	218.62
今回修正予想(B)	144,000	14,000	14,000	9,700	234.32
増減額(B)-(A)	△3,000	1,000	1,000	650	—
増減率(%)	△2.0	7.7	7.7	7.2	—
(ご参考)前年同期実績 (2020年3月期)	138,144	12,883	12,969	9,004	217.61

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	22,769	16,027
受取手形・完成工事未収入金等	65,666	77,140
たな卸資産	2,748	2,244
その他	2,709	2,194
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	93,891	97,605
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,200	15,145
その他(純額)	21,677	22,791
有形固定資産合計	36,877	37,936
無形固定資産	1,156	1,369
投資その他の資産		
投資有価証券	13,935	16,664
その他	6,721	6,959
投資その他の資産合計	20,656	23,623
固定資産合計	58,691	62,930
資産合計	152,583	160,535

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	20,345	17,923
短期借入金	—	3,000
1年内償還予定の社債	50	—
1年内返済予定の長期借入金	3,300	3,300
未払法人税等	2,192	2,844
未成工事受入金	2,361	1,709
工事損失引当金	4,851	4,052
賞与引当金	2,513	2,624
その他の引当金	62	87
その他	2,701	2,921
流動負債合計	38,378	38,463
固定負債		
社債	2,300	2,600
長期借入金	6,200	6,200
役員退職慰労引当金	625	307
株式報酬引当金	47	66
退職給付に係る負債	11,168	11,400
その他	1,815	2,788
固定負債合計	22,156	23,362
負債合計	60,534	61,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	10,185	10,185
利益剰余金	69,592	74,319
自己株式	△3,612	△3,613
株主資本合計	85,600	90,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,650	5,544
土地再評価差額金	159	159
その他の包括利益累計額合計	3,810	5,703
非支配株主持分	2,638	2,679
純資産合計	92,048	98,709
負債純資産合計	152,583	160,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	64,009	68,395
売上原価	55,075	55,873
売上総利益	8,934	12,522
販売費及び一般管理費	4,189	4,229
営業利益	4,745	8,292
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	184	181
持分法による投資利益	15	35
その他	58	72
営業外収益合計	258	293
営業外費用		
支払利息	44	45
コミットメントフィー	10	127
前受金保証料	36	21
団体定期保険料	31	32
その他	37	42
営業外費用合計	160	268
経常利益	4,842	8,317
特別利益		
固定資産売却益	3	0
受取保険金	90	3
その他	0	0
特別利益合計	94	3
特別損失		
固定資産処分損	2	69
関係会社株式評価損	22	—
特別損失合計	24	69
税金等調整前四半期純利益	4,912	8,251
法人税等	1,555	2,565
四半期純利益	3,356	5,685
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	129
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,259	5,556

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,356	5,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△533	1,893
その他の包括利益合計	△533	1,893
四半期包括利益	2,823	7,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,725	7,449
非支配株主に係る四半期包括利益	97	129

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,912	8,251
減価償却費	1,170	1,623
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	107	251
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1	△270
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	13	19
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△1,513	△799
その他の引当金の増減額(△は減少)	△104	135
受取利息及び受取配当金	△184	△185
支払利息	44	45
固定資産売却損益(△は益)	△3	20
その他	△10	1
売上債権の増減額(△は増加)	6,907	△11,473
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	19	△37
仕入債務の増減額(△は減少)	△321	△2,422
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,286	△651
未払金の増減額(△は減少)	△181	△156
預り金の増減額(△は減少)	△45	274
未払消費税等の増減額(△は減少)	△944	1,414
その他の資産・負債の増減額	△355	462
小計	10,795	△3,497
利息及び配当金の受取額	185	186
利息の支払額	△21	△45
法人税等の支払額	△1,341	△1,964
事故関連損失の支払額	△5	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,611	△5,320

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,694	△3,182
有形固定資産の売却による収入	4	35
無形固定資産の取得による支出	△334	△533
投資有価証券の取得による支出	△2	—
投資有価証券の売却による収入	2	0
貸付けによる支出	—	△40
貸付金の回収による収入	0	—
その他の支出	△12	△31
その他の収入	23	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,014	△3,730
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000	3,000
長期借入れによる収入	6,200	3,000
長期借入金の返済による支出	△5,945	△3,000
社債の償還による支出	△2,250	△50
社債の発行による収入	2,300	300
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	53	—
配当金の支払額	△704	△829
非支配株主への配当金の支払額	△2	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,348	2,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,239	△6,742
現金及び現金同等物の期首残高	24,414	22,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,654	15,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,030	23,978	1,655	346	64,009	—	64,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	38,030	23,978	1,655	346	64,009	—	64,009
セグメント利益	3,889	1,056	205	197	5,349	△604	4,745

(注) 1. セグメント利益の調整額△604百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,149	22,530	2,388	327	68,395	—	68,395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	43,149	22,530	2,388	327	68,395	—	68,395
セグメント利益	6,390	1,877	437	181	8,887	△594	8,292

(注) 1. セグメント利益の調整額△594百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. その他

売上高、受注高及び受注残高(連結)

期 別	前第2四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	増 減 (△印は減)	前連結会計年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	
区 分	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	
売 上 高	橋梁事業	38,030	43,149	5,118	81,230
	エンジニアリ ング関連事業	23,978	22,530	△1,447	52,934
	先端技術事業	1,655	2,388	733	3,290
	不動産事業	346	327	△18	689
	合 計	64,009	68,395	4,385	138,144
受 注 高	橋梁事業	33,096	43,375	10,279	69,404
	エンジニアリ ング関連事業	26,957	30,970	4,013	51,175
	先端技術事業	1,437	2,249	811	3,746
	合 計	61,491	76,595	15,104	124,326
受 注 残 高	橋梁事業	108,433	101,767	△6,665	101,541
	エンジニアリ ング関連事業	48,536	52,238	3,701	43,798
	先端技術事業	829	1,364	535	1,503
	合 計	157,799	155,370	△2,429	146,843

(注) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた金額です。